



# 位置図

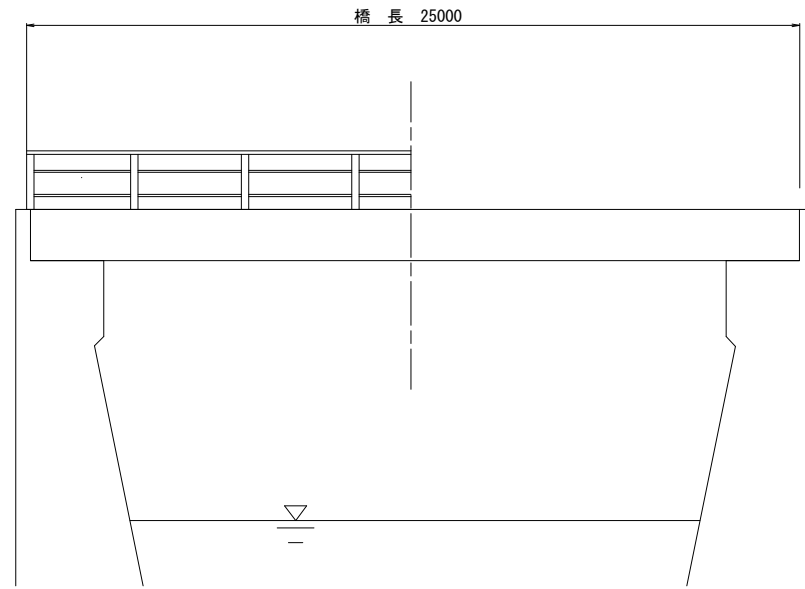
S=1:100,000



# 赤沢橋 現況一般図

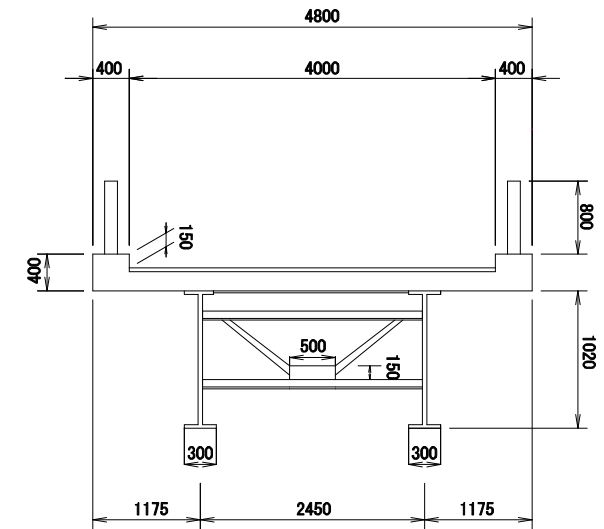
側面図

S=1:50



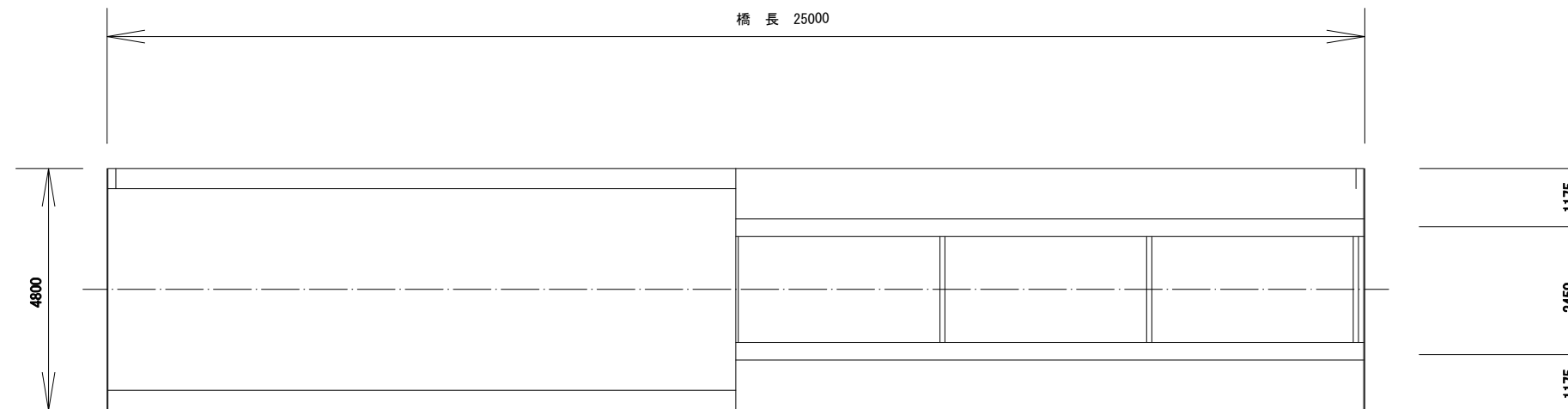
断面図

S=1:30



平面図

S=1:30



A1

A2

二級河川 小国川

橋梁諸元

橋名	赤沢橋 (あかさわばし)
路線名	市道 赤沢川向線
位置	岩手県宮古市江繁第10地割 地内
橋長	L=25.0m
斜角	不明
全幅員	W=4.800m
有効幅員	W=4.000m
横断勾配	↙ 0.5% 0.5% ↘
舗装	コンクリート舗装
上部工形式	鋼桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	不明
竣工年月	昭和47年 (1972年) ※54年経過
適用基準	昭和31年 鋼道路橋設計示方書
設計荷重	14.0 t
交差物件	二級河川 小国川 (河川管理者: 岩手県)

(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。

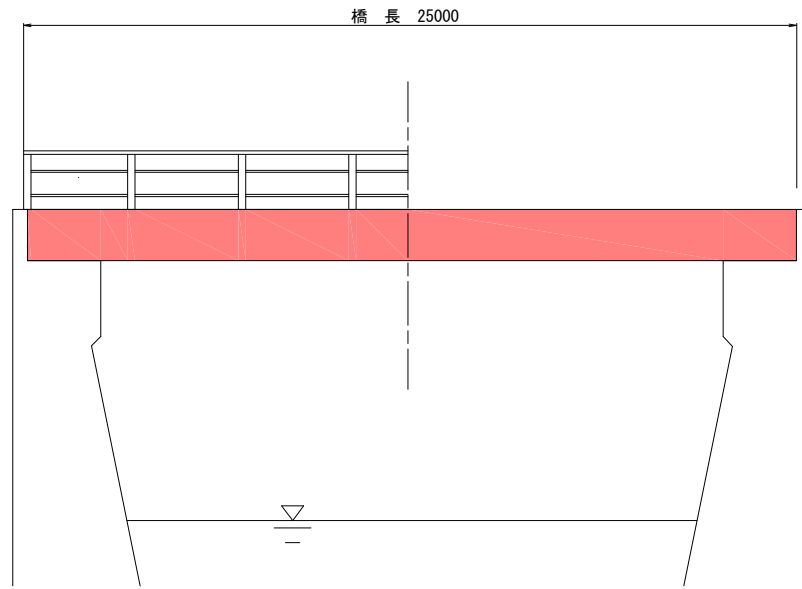
宮古市都市整備部建設課

市道 赤沢川向線	宮古市江繁第10地割 地内
全 4 枚ノ中 其 1	現況一般図
令和 8 年度	
赤沢橋補修工事	
縮尺	図示

# 赤沢橋 補修一般図

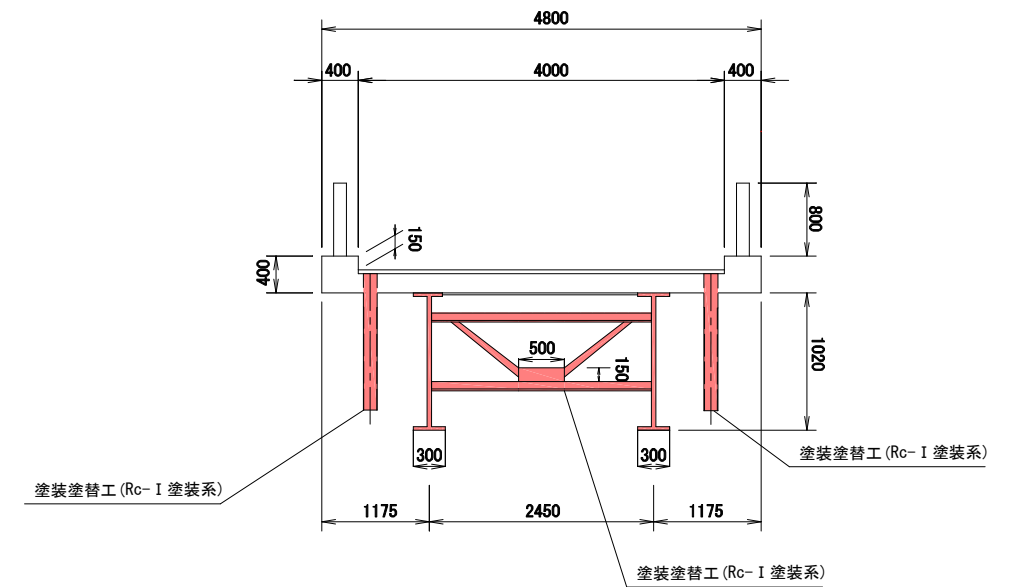
側面図

S=1:50



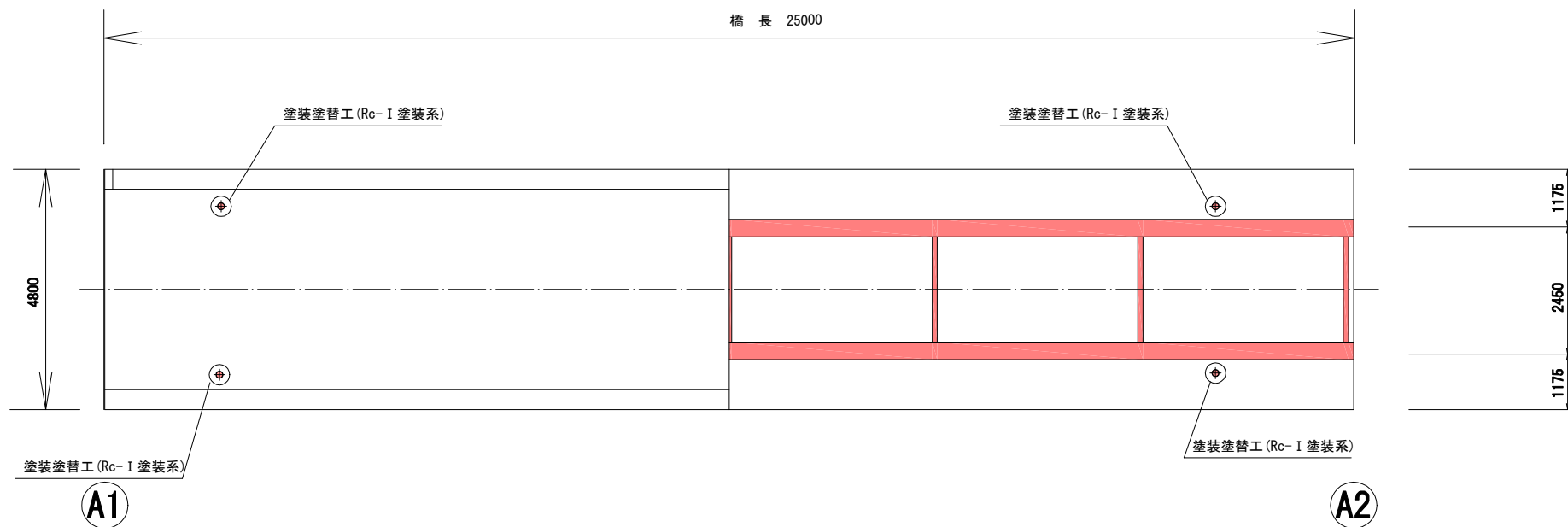
断面図

S=1:30



平面図

S=1:30



補修項目一覧表

	部 位	工 種
上部工	主桁	塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)
	横桁	塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)
その他	排水管	塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)

橋梁諸元

橋 名	赤沢橋 (あかさわばし)
路 線 名	市道 赤沢川向線
位 置	岩手県宮古市江繁第10地割 地内
橋 長	L=25.0m
斜 角	不明
全 幅 員	W=4.800m
有効幅員	W=4.000m
横断勾配	← 0.5% 0.5% →
舗 装	コンクリート舗装
上部工形式	鋼桁橋
下部工形式	重力式橋台
基礎工形式	不明
竣工年月	昭和47年 (1972年) ※54年経過
適用基準	昭和31年 鋼道路橋設計示方書
設計荷重	14.0 t
交差物件	二級河川 小国川 (河川管理者: 岩手県)

(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。

二級河川 小国川

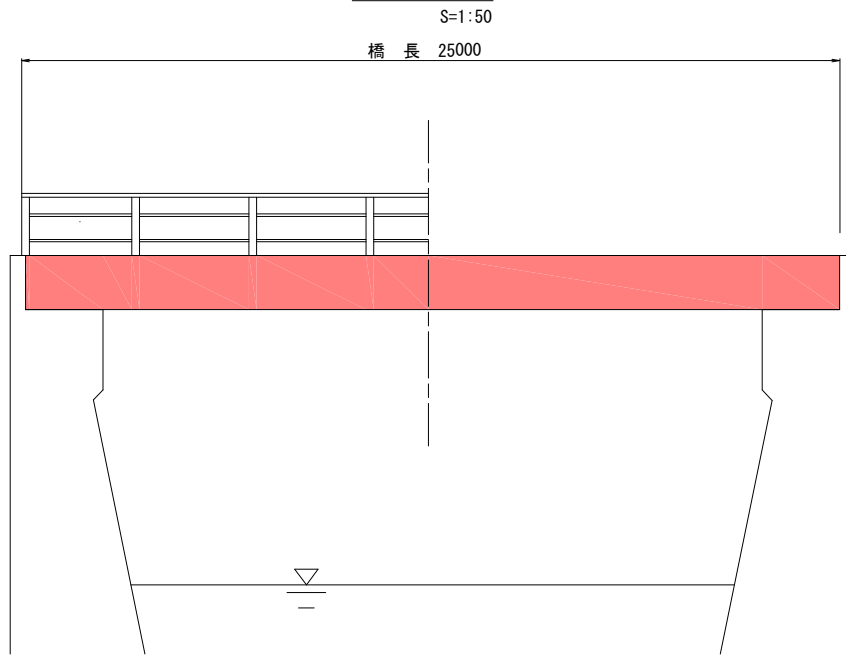
宮古市都市整備部建設課

市道 赤沢川向線	宮古市江繁第10地割 地内
全 4 枚ノ中 其 2	補修一般図
令和 8 年度	
赤沢橋補修工事	
縮 尺	図 示

# 赤沢橋 鋼部材再塗装工図 (その1)

〈主桁・横桁・排水管〉

側面図



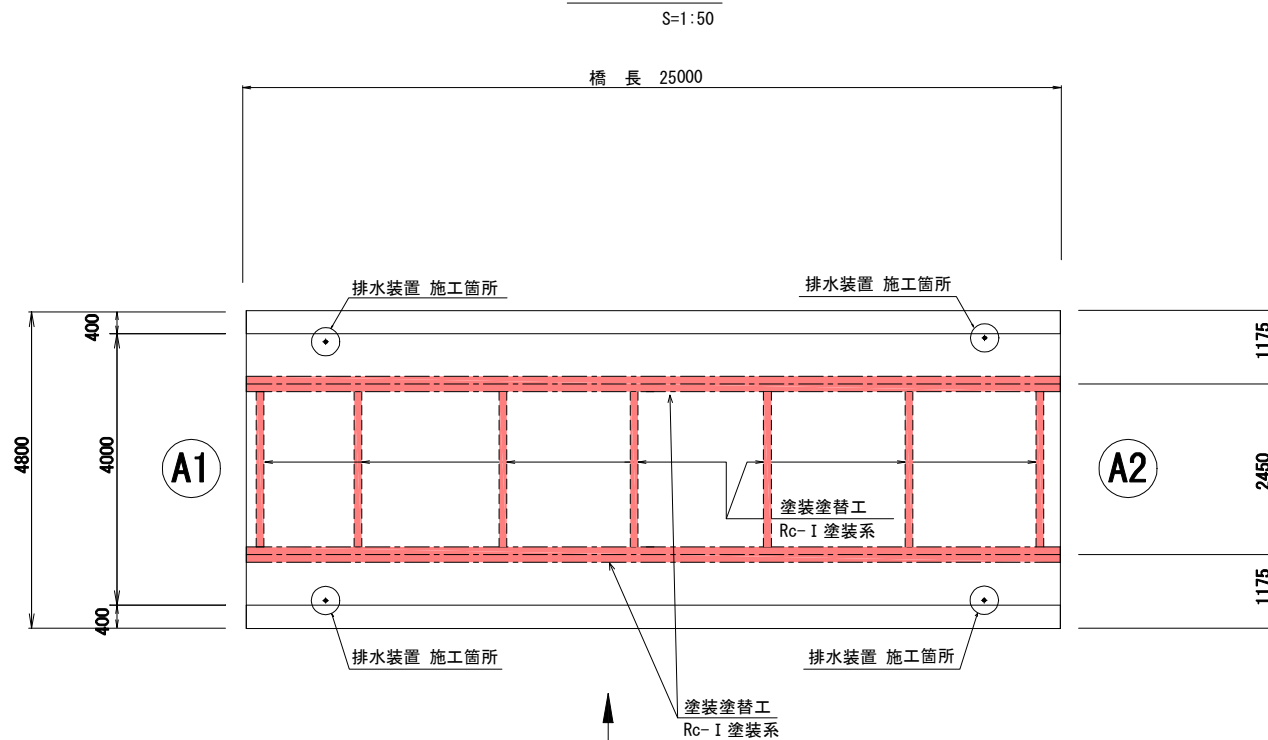
〈塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)〉

主桁 (N=2)  
1-UFLG PL 300×20×25000  
1-WEB PL 982×13×25000  
1-LFLG PL 300×20×25000

端横桁 (N=2)  
2-CH 100×90×9×13×2450  
2-CH 80×90×9×13×1140  
1-PL 150×500

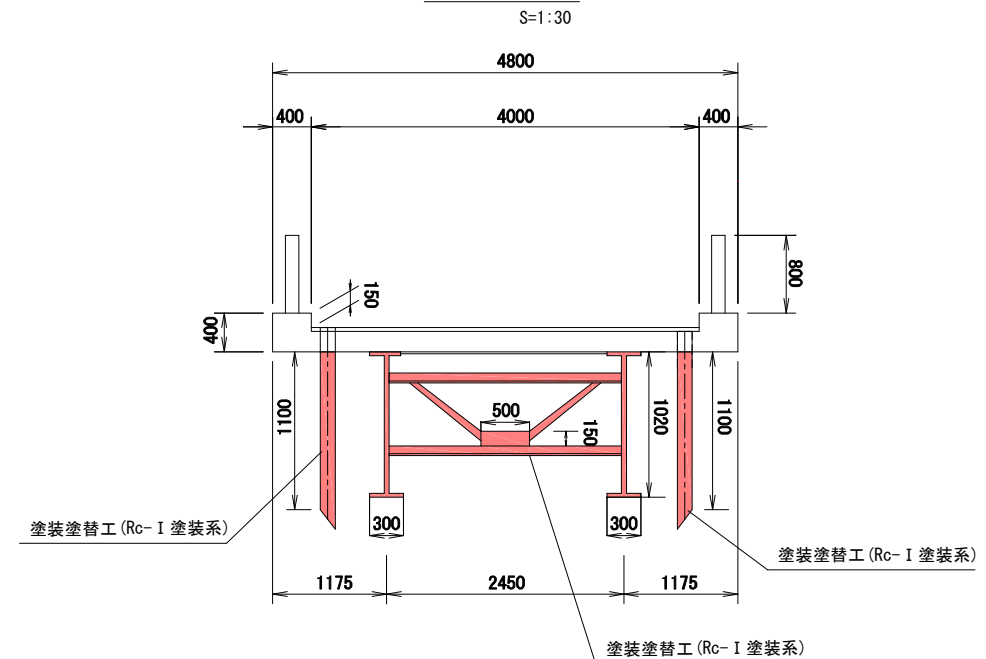
中間横桁 (N=5)  
2-CH 100×90×9×13×2450  
2-CH 80×90×9×13×1140  
1-PL 150×500

平面図



二級河川 小国川

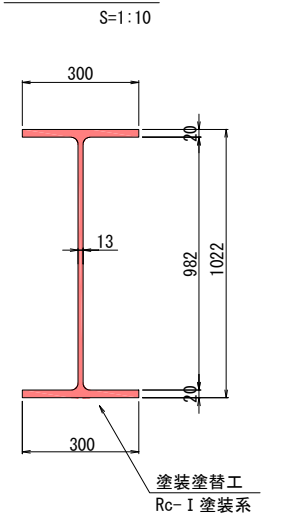
断面図



〈塗装塗替工 (Rc-I 塗装系)〉

排水装置 (N=4)  
1-PIPE φ114.3×4.5×1100

主桁詳細



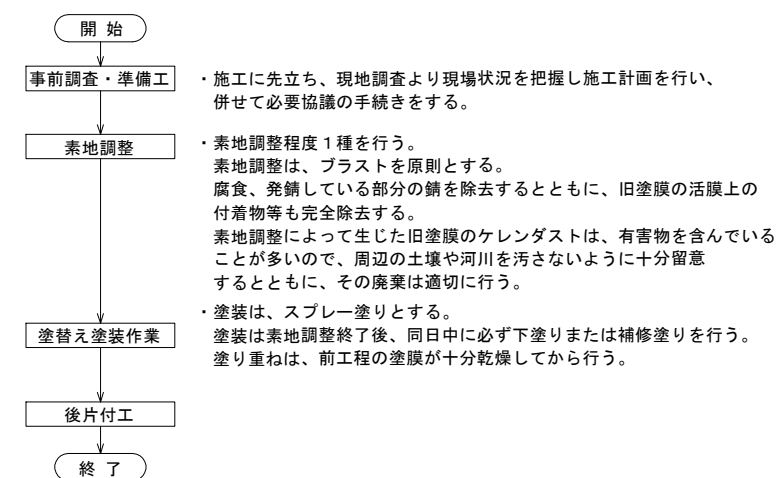
## Rc-I 塗装系 (スプレー)

循環式プラスト工法相当以上  
(循環式プラスト工法 NETIS登録番号:KT-230028-A 建審証第2201号)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	1種			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	170	30	1日~10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日~10日

※1:原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更もできる。  
※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。  
※3:プラスト処理による除せいでISO Sa 2 1/2とする。

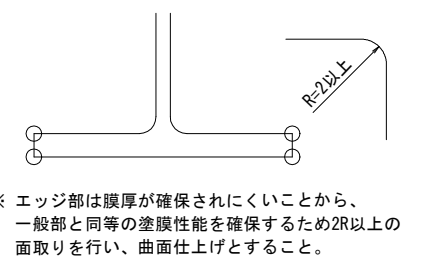
## 施工手順



(特記事項)

1. 本図面の断面形状及び寸法は、既往の図面及び実測結果を基に復元したものである。
2. 施工関連諸寸法は、調査把握の上、最終決定すること。
3. 再塗装の色は監督職員と協議して決定すること。

## エッジ部曲面仕上げ



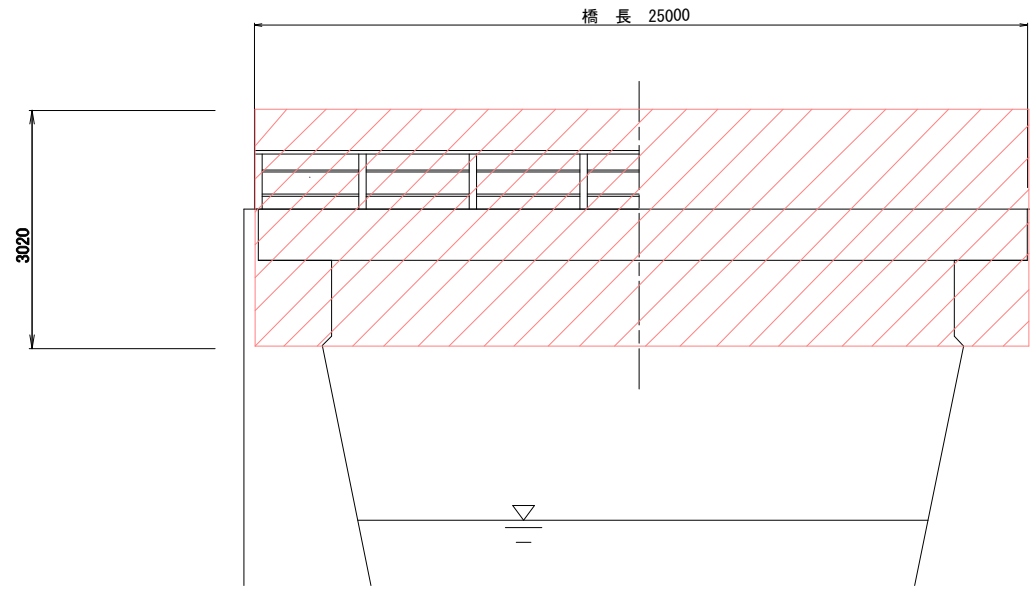
※ エッジ部は膜厚が確保されにくいことから、一般部と同等の塗膜性能を確保するため2R以上の面取りを行い、曲面仕上げとすること。

宮古市都市整備部建設課	
市道 赤沢川向線	宮古市江黎第10地割 地内
全 4 枚ノ中 其 3	鋼部材再塗装工図 (その1)
令和 8 年度	
赤沢橋補修工事	
縮尺	図示

# 赤沢橋 仮設計画図 (案)

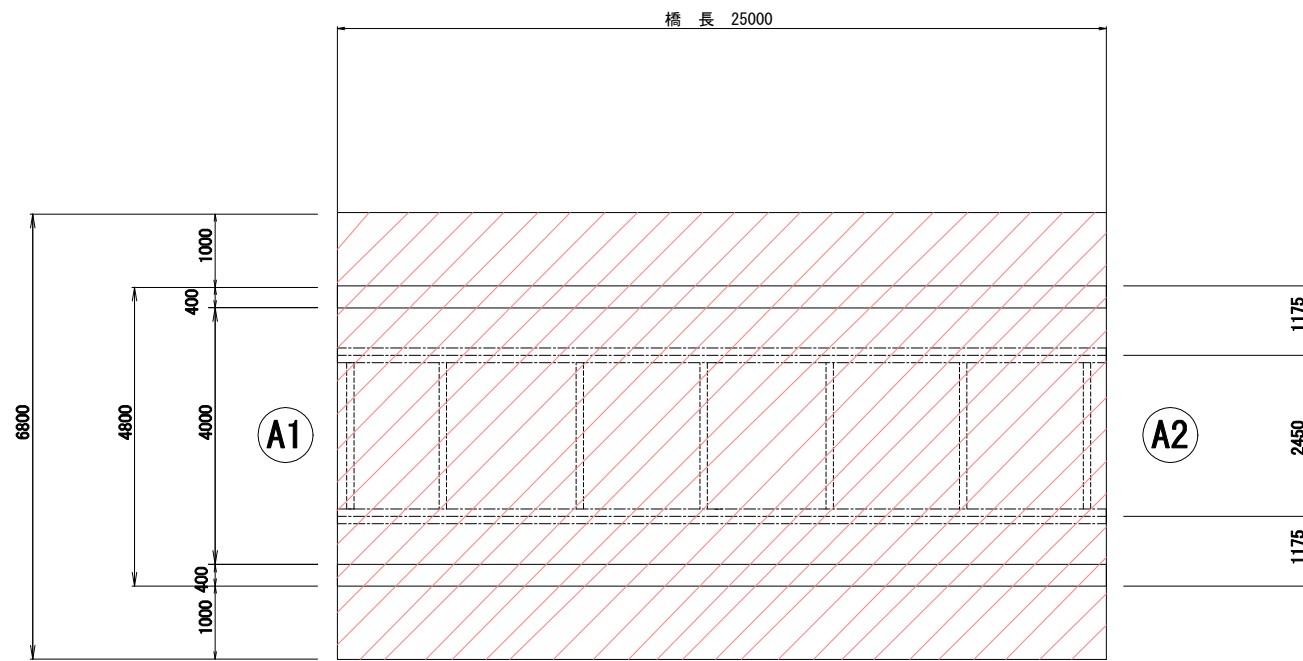
側面図

S=1:50



平面図

S=1:50

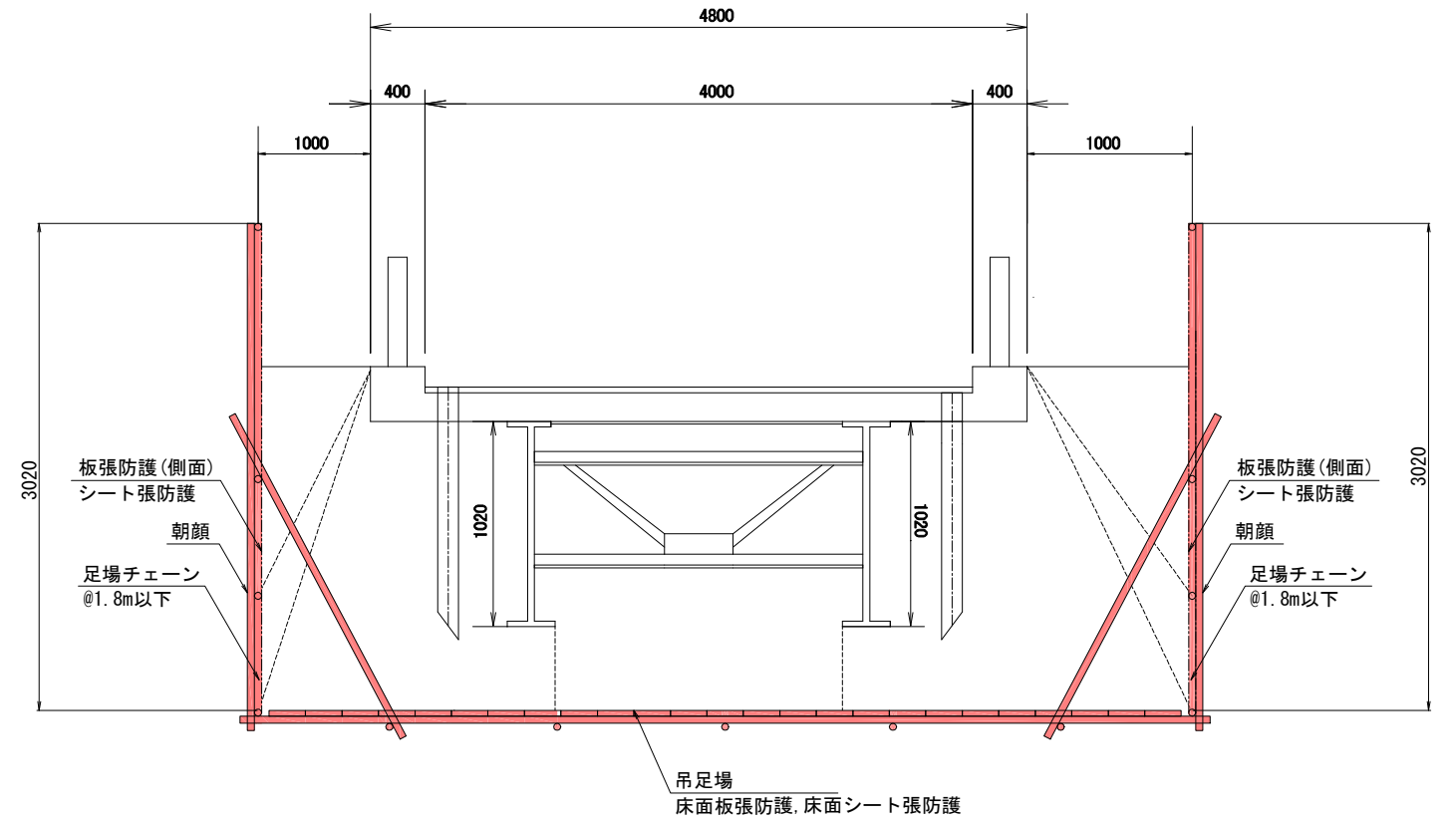


二級河川 小国川

: 足場架設範囲

断面図

S=1:20



※プラスト施工時はプラスト養生シートを設置する。

施工フロー



宮古市都市整備部建設課	
市道 赤沢川向線	宮古市江刺第10地割 地内
全 4 枚ノ中 其 4	仮設計画図 (案)
令和 8 年度	
赤沢橋補修工事	
縮 尺	図 示